

農作物の生育概況等について

1 気象経過

4 月は曇りや雨の日が多く、日照時間は平年より少なく、酒田と新庄では月間日照時間が観測史上 1 位の少なさとなった（平年比：アメダス地点酒田 51%、新庄 54%）。気温は高く、降水量は平年並みから多く経過した。

2 主な農作物の生育状況

（1）水 稲

- ・ 耕起作業の進捗は、4 月の降雨日が多かった影響で平年に比べてやや遅く、県全体の耕起作業の始期は 4 月 25 日（平年比＋3 日）、盛期は 5 月 2 日（平年比＋2 日）となった。
- ・ 移植作業の始期は、庄内地域で 5 月 11 日（平年比＋2 日）となり、内陸地域で、5 月 17 日（平年比＋1 日）の見込みとなっている。

（2）果 樹

- ・ 露地さくらんぼの生育は、概ね平年並であり、村山地域平坦部の満開期が 4 月 25 日～26 日頃となった。開花が早く生育が進んでいる「やまがた紅王」や「紅秀峰」は、結実が概ね良好である。主力品種の「佐藤錦」の結実は、まだはつきりしないが開花期の天候不良の影響で、着果量不足が懸念される。
- ・ 双子果は、前年より少ないものの「紅秀峰」を中心に例年並に見られており、現在、生育の早い園地や品種を中心に、双子果や着果が多い部分の摘果作業が行われている。
- ・ 5 月 21 日にさくらんぼの「高品質生産・厳選出荷のための広報キャラバン出発式」を寒河江市三泉で、5 月 30 日に今年の天候を踏まえた技術対策の研修会を園芸農業研究所で開催する予定である。
- ・ 5 月 23 日にさくらんぼ作柄調査を実施し、5 月 28 日に結果を発表する予定である。
- ・ ハウスさくらんぼについては、燃料高騰の影響で加温温度を低めに管理した生産者が多かったため、出荷は前年より遅れているが、品質は概ね良好である。

（3）野 菜

- ・ きゅうりのハウス栽培の収穫は、例年よりやや遅い 5 月上旬から盛期となっている。
- ・ 露地すいかの定植盛期は、例年並の 4 月 20 日頃から 5 月 10 日頃、露地メロンの定植盛期は、例年よりやや遅い 4 月 25 日頃から 5 月 5 日頃で、定植後の生育は日照不足によりやや遅れている。
- ・ 露地アスパラガスの収穫は、例年よりやや遅い 4 月 23 日頃から始まっており、例年よりやや遅い 5 月中旬から盛期となっている。

3 当面の主な技術対策

〈水 稲〉適期移植の徹底と、初期生育量確保に向けたきめ細かな水管理の指導

〈果 樹〉さくらんぼ・りんご・西洋なし・もも等の摘果の徹底、さくらんぼ・ぶどうハウス栽培の生育に応じた温度管理（高温対策を含む）の徹底、さくらんぼ褐色せん孔病・りんご黒星病等の防除の徹底

〈野 菜〉ハウス・露地トンネル果菜類（すいか、メロン等）のきめ細かな温度管理の徹底

〈花 き〉りんどう、ダリア、トルコギキョウ等の計画的な圃場準備

〈農作業安全〉熱中症や農作業事故を防止するための基本的な対策の実施